



令和4年4月15日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済(令和4年4月号)」

国土交通省では、「国土交通月例経済(令和4年4月号)」を発表したのでお知らせいたします。

概況は、別紙のとおりです。なお、詳細につきましては、以下の URL よりご覧ください。

概況	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r04/04/overview.pdf
建設分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r04/04/construction_menu.html
交通分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/transport/transport_menu.html

本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

国土交通月例経済は、建設分野や交通分野の統計をはじめ、事業者や関係団体が公表している様々なデータの中から、主要な項目をまとめて毎月公表しています。

問い合わせ先

総合政策局情報政策課 中村、野村

TEL:(03)5253-8111(内線:28414)

FAX:(03)5253-1567

総合政策局情報政策課建設経済統計調査室 片境

TEL:(03)5253-8111(内線:28631)

FAX:(03)5253-1566

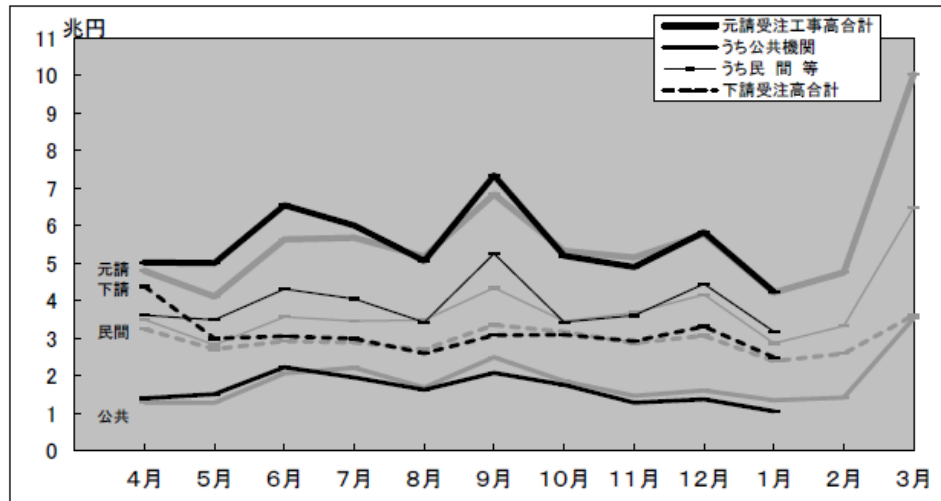
国土交通月例経済（令和4年4月号）概況

I 建設分野

1. 建設工事の受注高

1月の受注高は6兆7,338億円で、前年同月比1.8%増加した。うち元請受注高は4兆2,391億円で、同0.4%増加し、下請受注高は2兆4,947億円で、同4.2%増加した。元請受注高のうち公共機関からの受注高は1兆599億円で、同21.7%減少し、民間等からの受注高は3兆1,792億円で、同10.9%増加した。

受注高の推移(令和3年度)

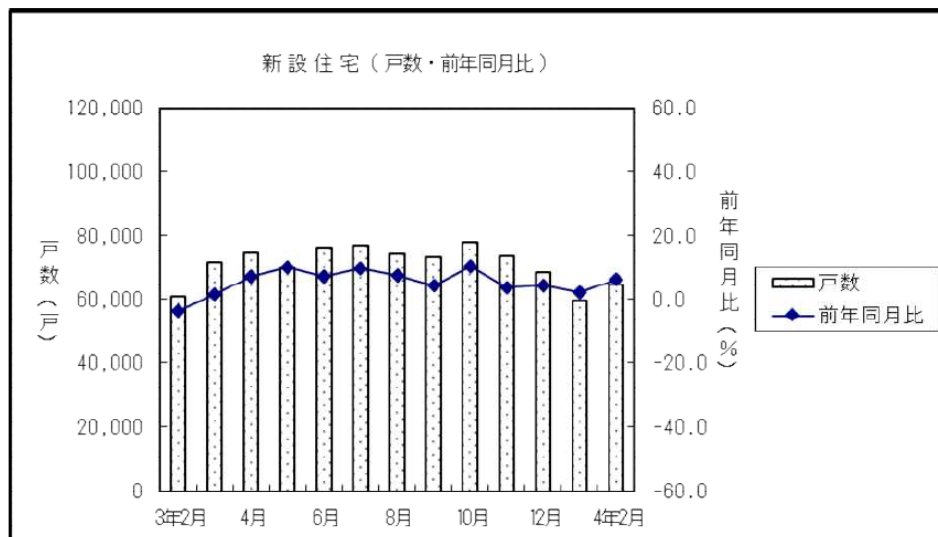


(グラフ中の淡色の線は、令和2年度の推移)

出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00600130&tstat=000001015811>

2. 住宅着工

2月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比6.3%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比6.4%の増加となった。



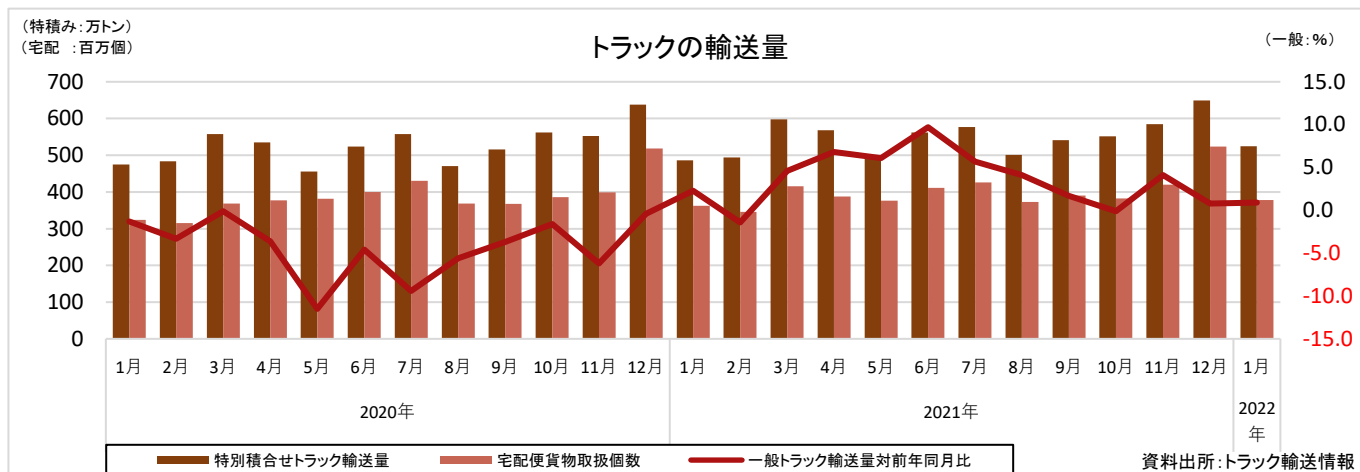
出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600120&kikan=00600>

II 交通分野

1. 貨物輸送

(1) トラック

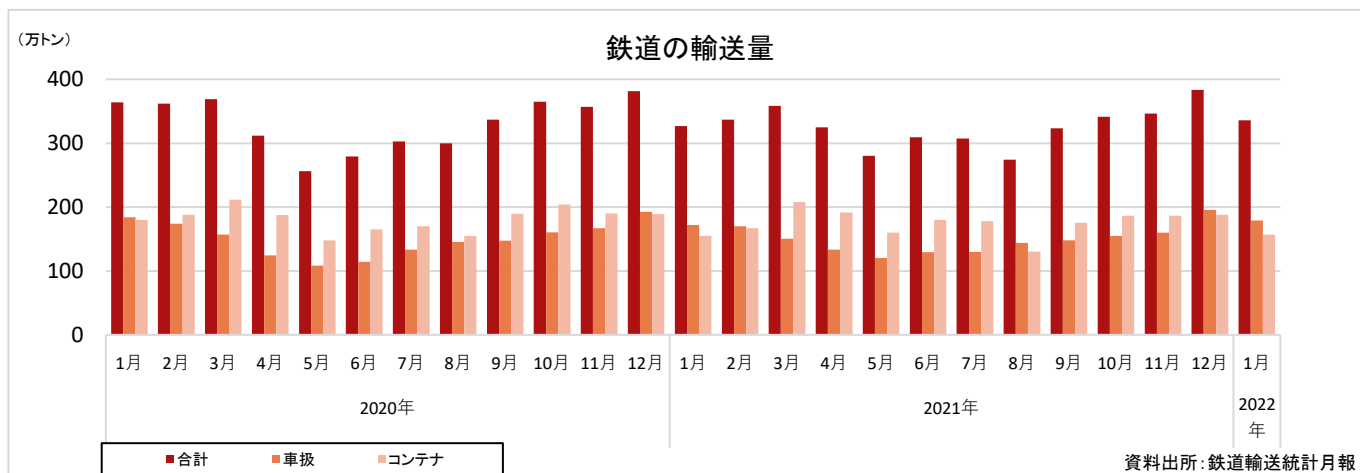
1月の特別積合せトラック（大手24社）の輸送量は525万トン（対前年同月比8.0%増加）、宅配貨物取扱事業者（大手14社）による宅配便貨物取扱個数は378百万個（対前年同月比4.3%増加）、全国の一般貨物トラック事業者（約1,000社）による一般トラック輸送量は対前年同月比0.9%増となった。



(2) 鉄道

1月の鉄道の輸送量は336万トン（対前年同月比2.8%増加）となった。

そのうち、車扱は179万トン、コンテナは157万トンであった。

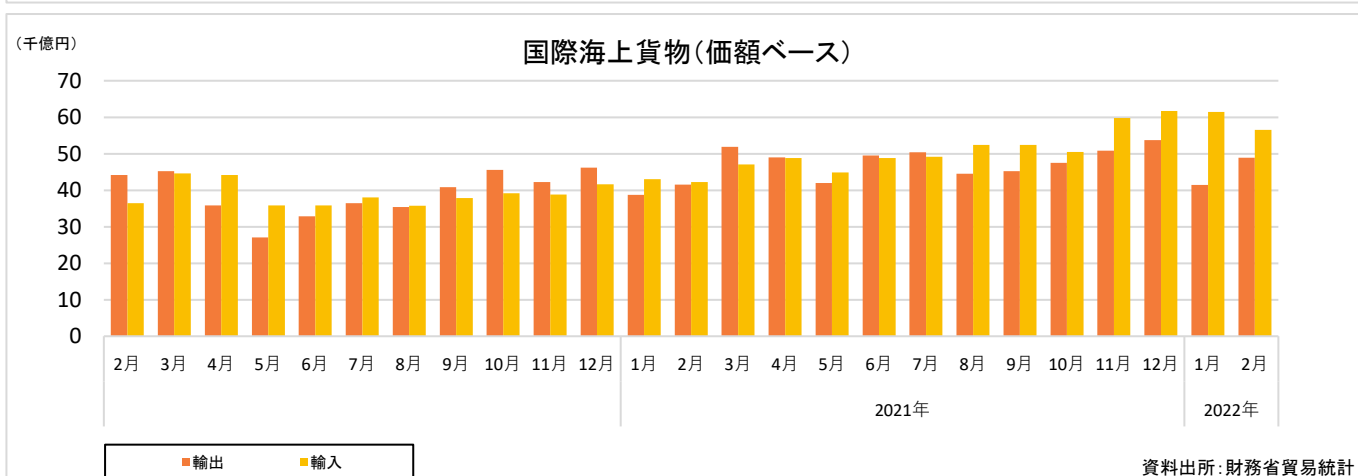
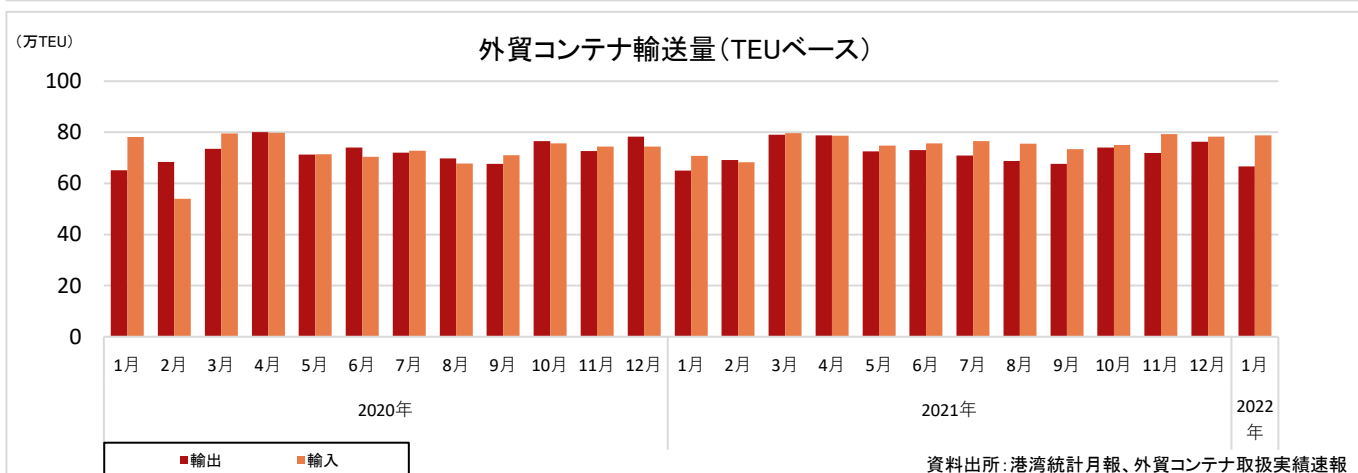
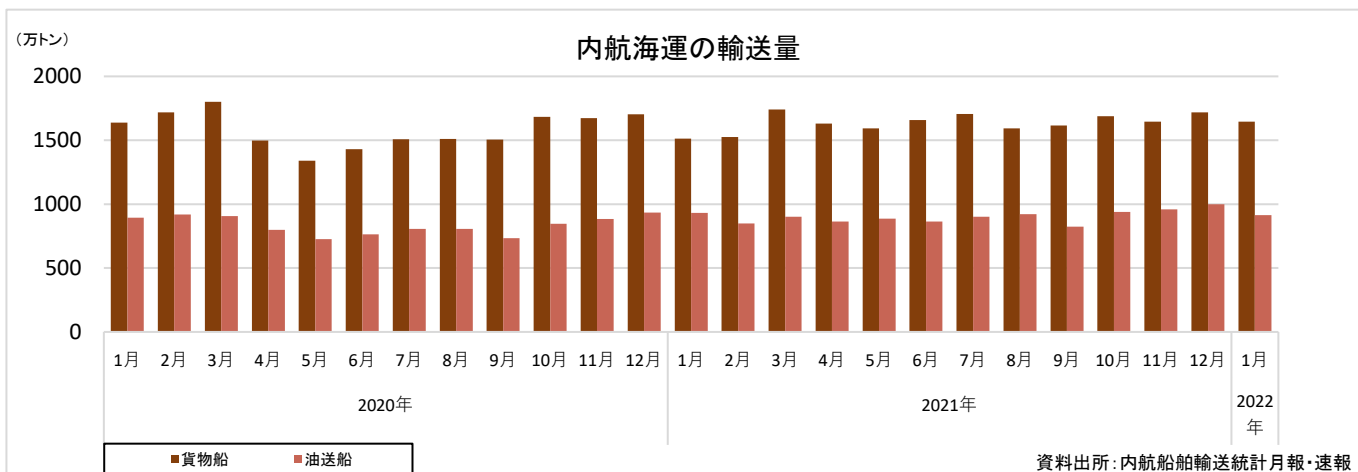


(3) 海運

1月の内航海運の輸送量は、貨物船1,645万トン（対前年同月比8.6%増加）、油送船914万トン（対前年同月比1.9%減少）となった。

1月の外航海運（外貨コンテナ）の輸送量は、輸出67万TEU（対前年同月比0.1%増加）、輸入79万TEU（対前年同月比2.3%増加）となった。

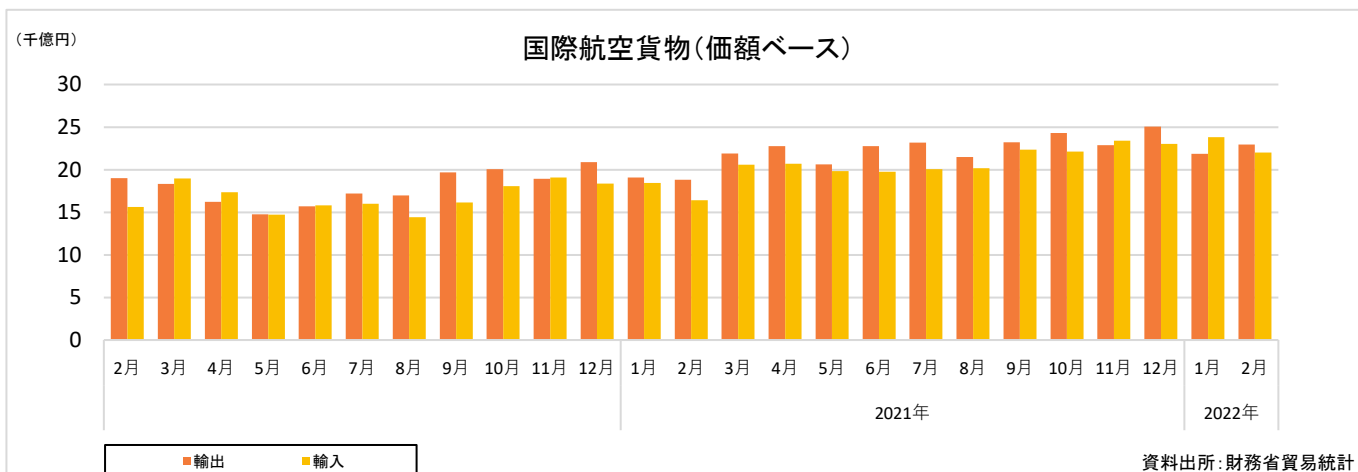
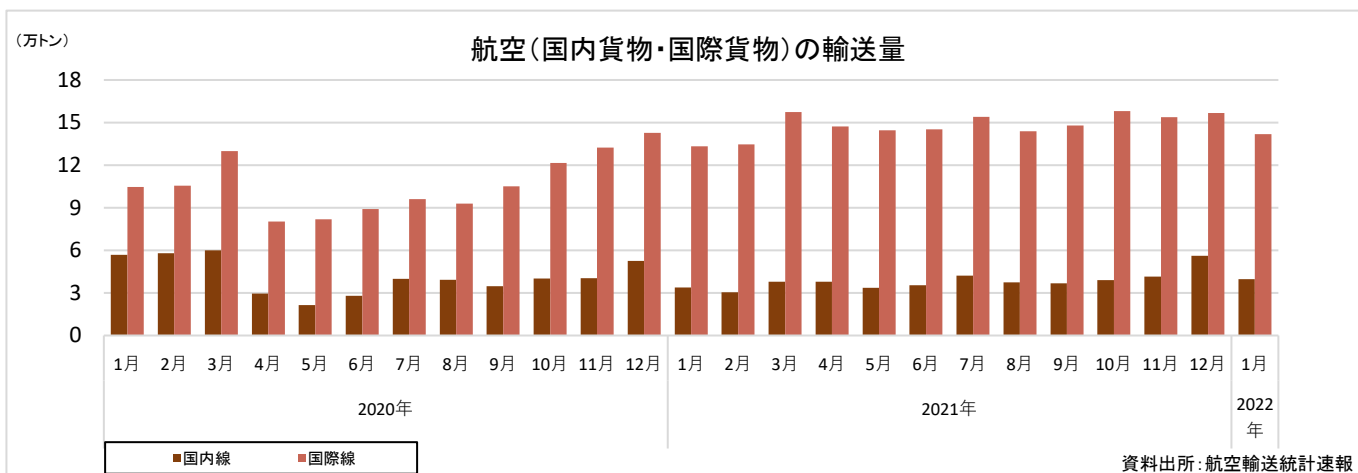
2月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出4.9兆円（対前年同月比17.7%増加）、輸入5.7兆円（対前年同月比34.0%増加）となった。



(4) 航空

1月の航空の輸送量は、国内線 40 千トン（対前年同月比 17.4%増加）、国際線 142 千トン（対前年同月比 6.4%増加）となった。

2月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出 2.3 兆円（対前年同月比 22.0%増加）、輸入 2.2 兆円（対前年同月比 34.3%増加）となった。

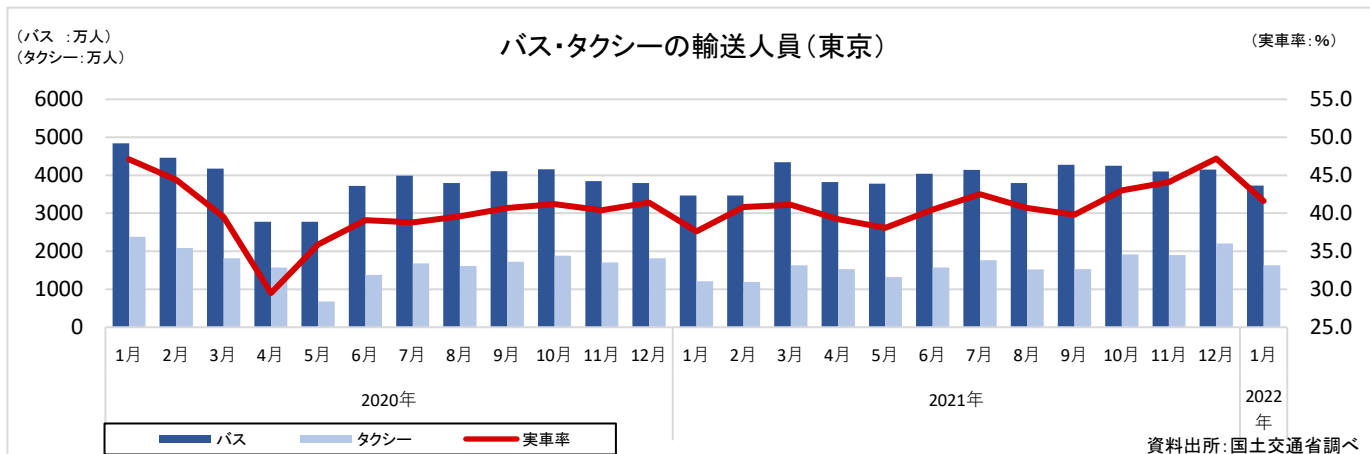


2. 旅客輸送

(1) バス・タクシー

1月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の輸送人員は3,729万人（対前年同月比7.5%増加）となった。

1月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の輸送人員は1,634万人（対前年同月比34.8%増加）、実車率は41.6%となった。



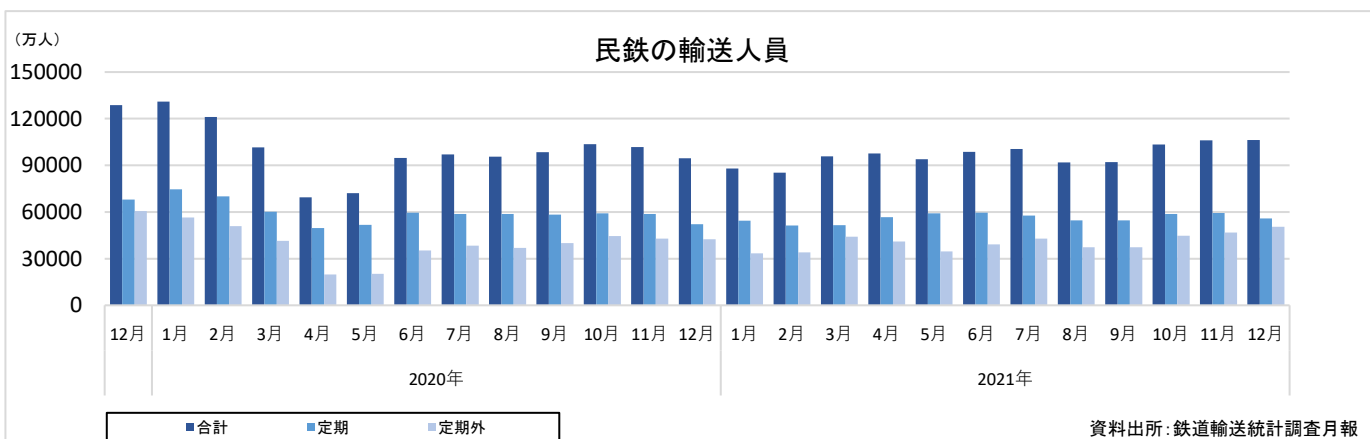
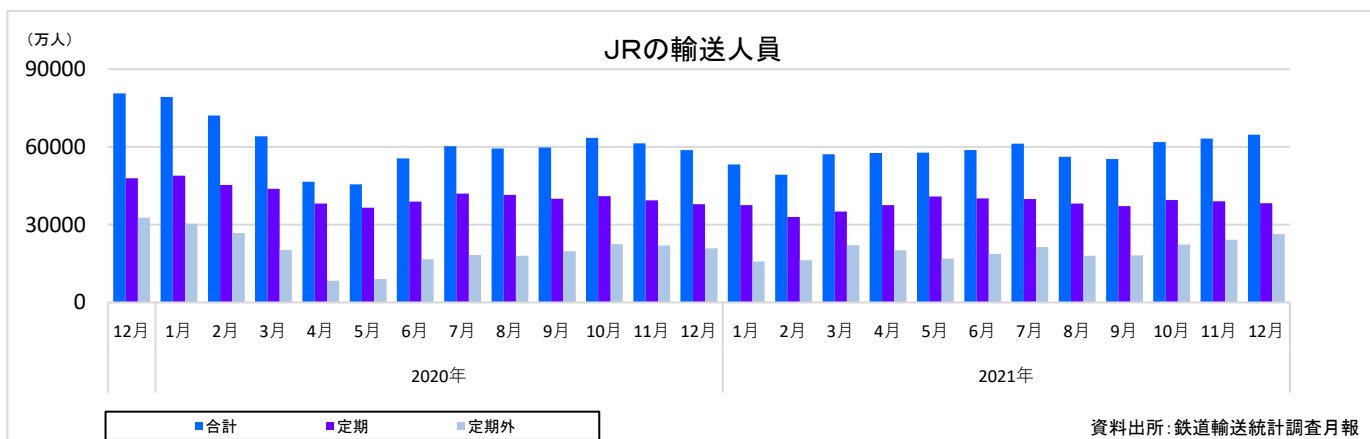
(2) 鉄道

12月のJRの輸送人員は64,680万人（対前年同月比10.0%増加）となった。

そのうち、定期は38,304万人、定期外は26,376万人であった。

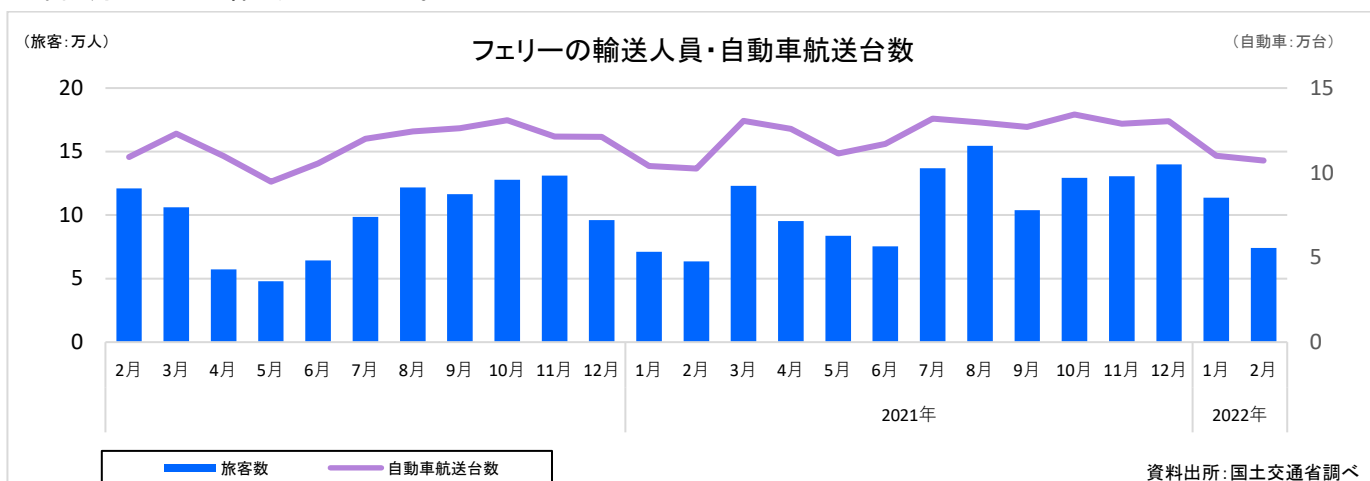
12月の民鉄の輸送人員は106,218万人（対前年同月比12.3%増加）となった。

そのうち、定期は55,801万人、定期外は50,416万人であった。



(3) フェリー

2月の長距離フェリーの輸送人員は7万人（対前年同月比16.7%増加）、自動車航送台数は11万台（対前年同月比4.6%増加）となった。

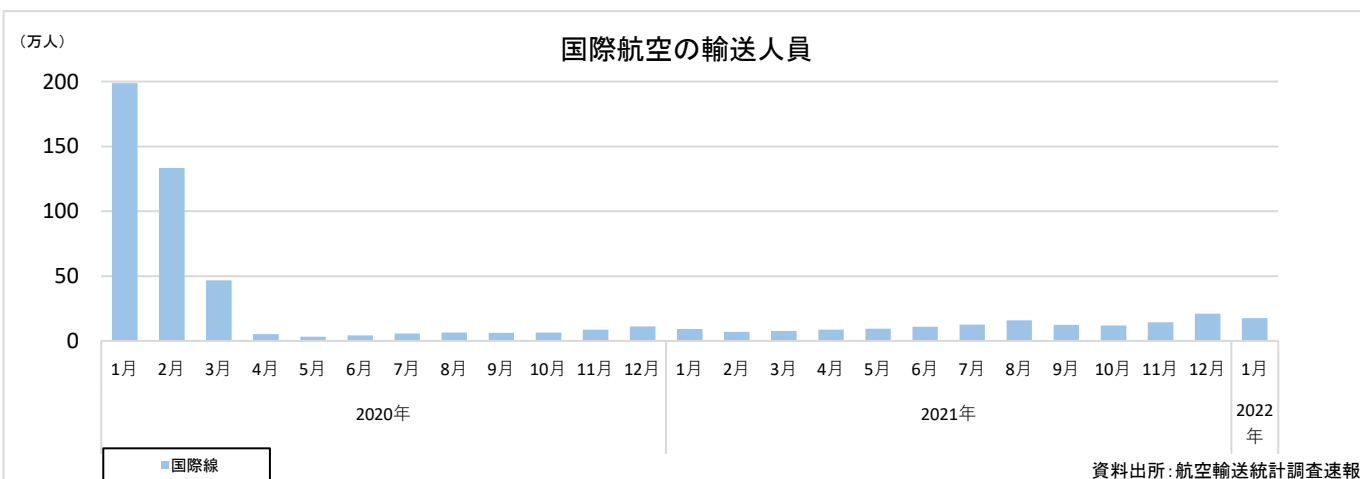
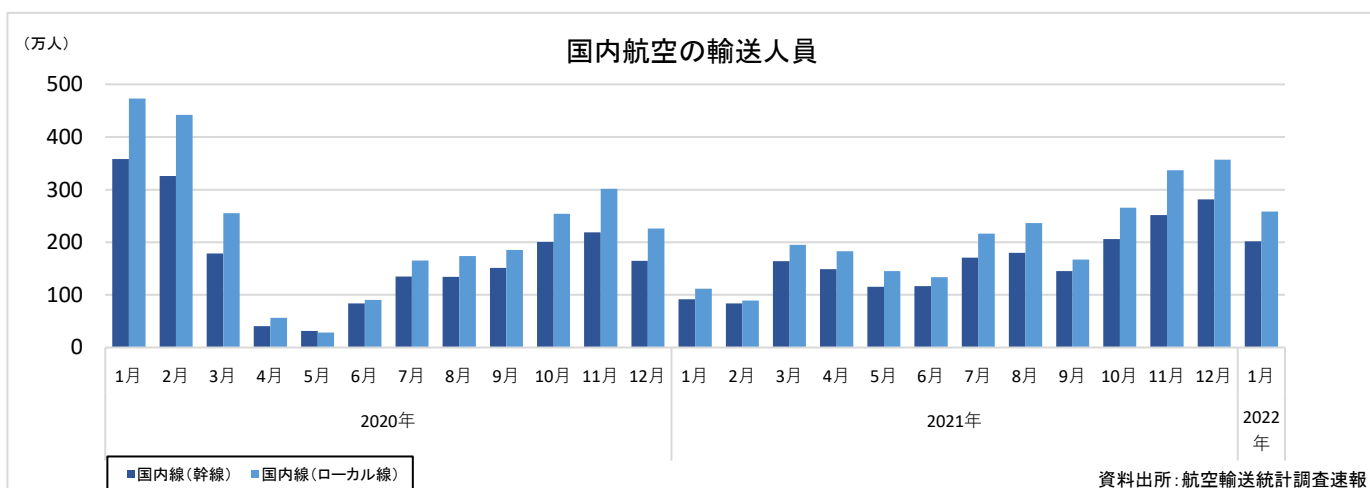


(4) 航空

1月の国内線の輸送人員は460万人（対前年同月比126.1%増加）となった。

そのうち、幹線は202万人、ローカル線は259万人であった。

1月の国際線の輸送人員は18万人（対前年同月比91.5%増加）となった。



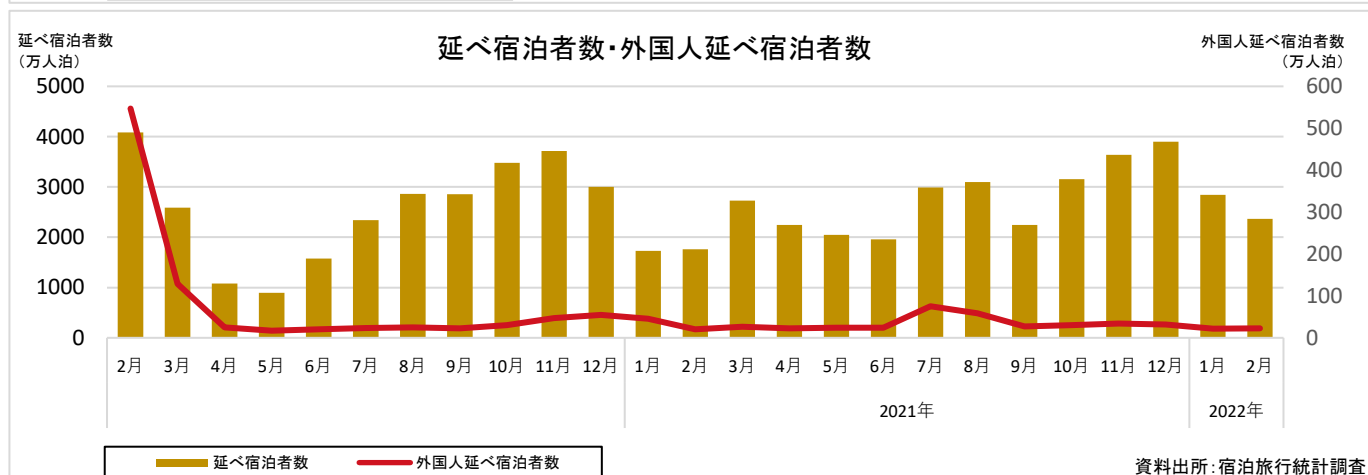
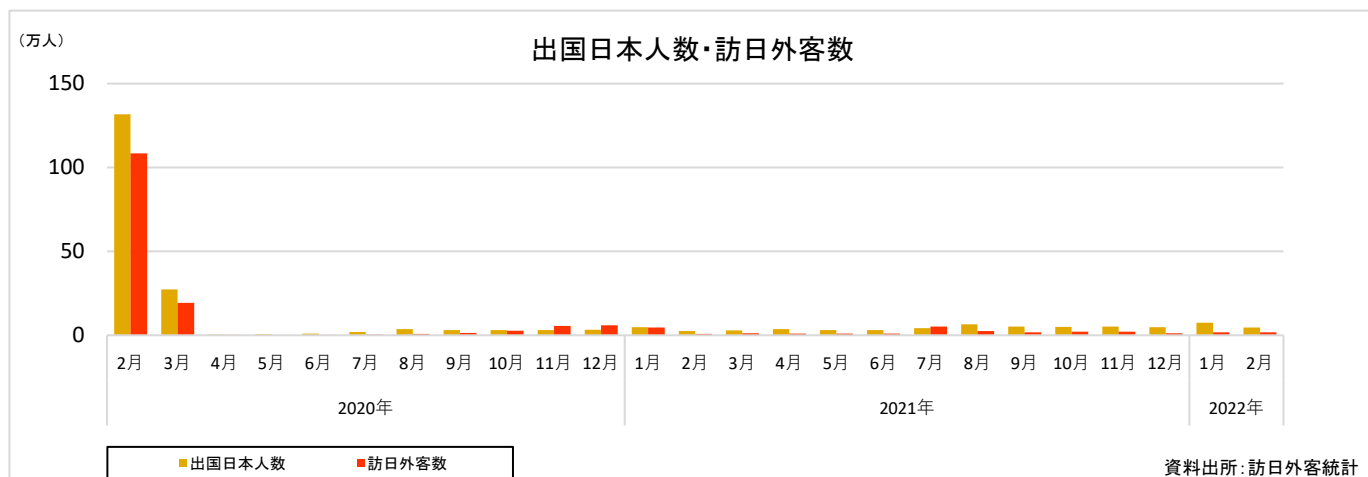
3. 観光分野

(1) 出国日本人数、訪日外客数、宿泊者数

2月の出国日本人数は5万人（対前年同月比89.1%増加）、訪日外客数は2万人（対前年同月比127.1%増加）となった。

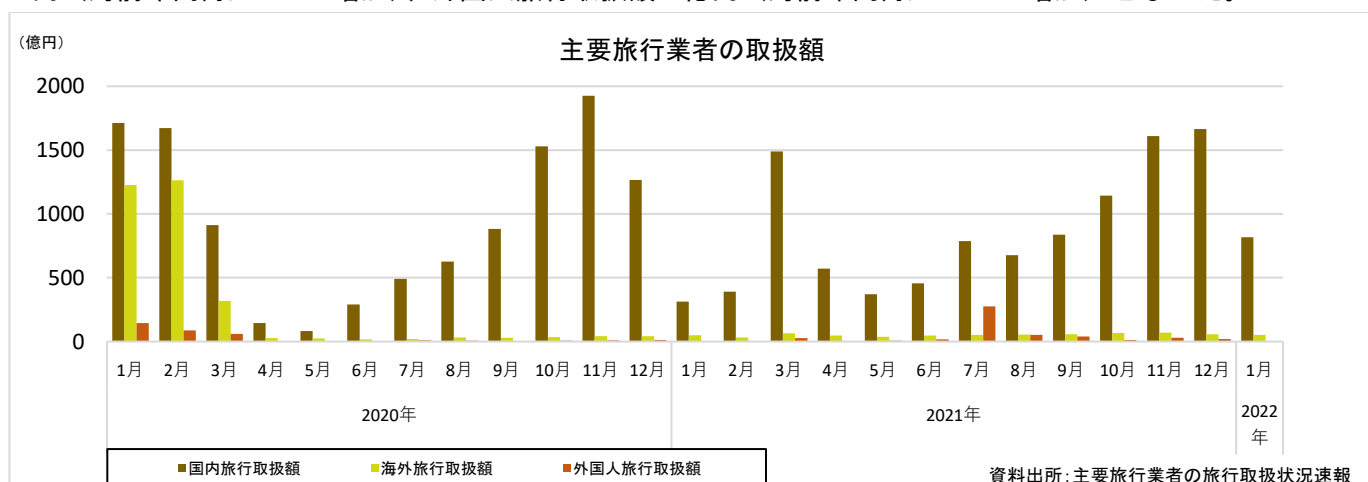
2月の延べ宿泊者数は2,364万人泊（対前年同月比34.1%増加）となった。

そのうち、外国人延べ宿泊者数は23万人泊（外国人シェア1.0%）であった。



(2) 主要旅行業者の旅行取扱状況

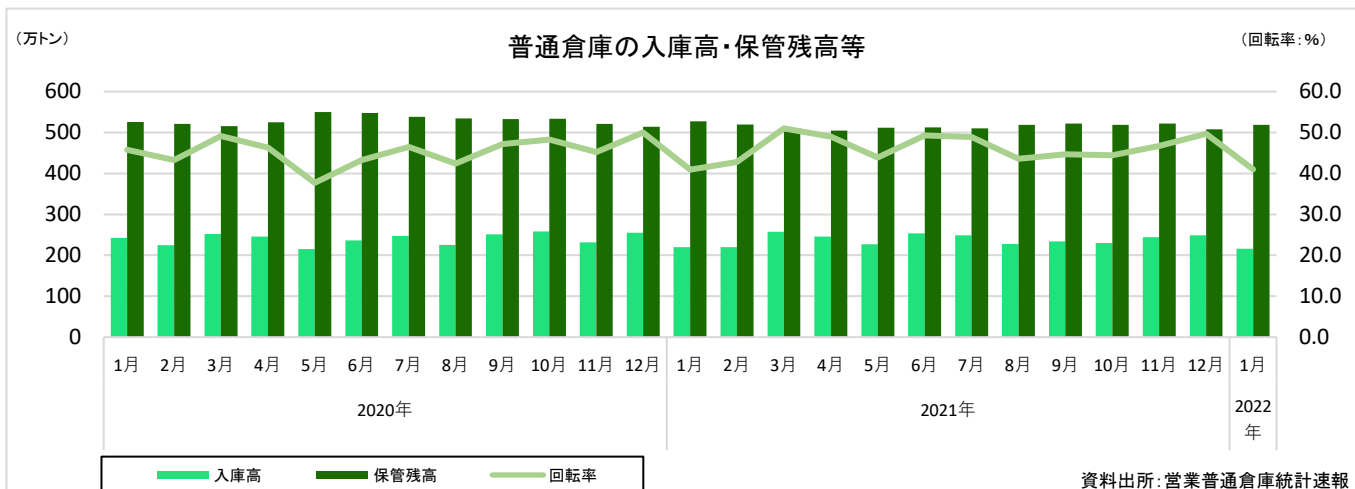
1月の主要旅行業者（45社）の取扱額は、国内旅行816億円（対前年同月比160.0%増加）、海外旅行52億円（対前年同月比3.7%増加）、外国人旅行取扱額3億円（対前年同月比28.4%増加）となった。



4. その他

(1) 倉庫

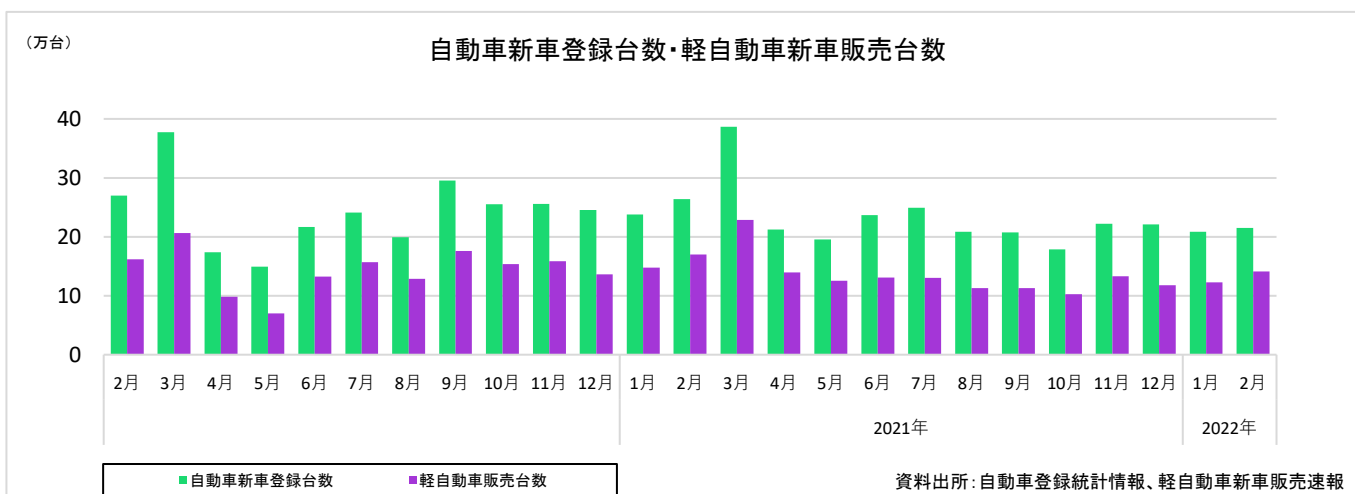
1月の普通倉庫の入庫高は216万トン（対前年同月比1.9%減少）、保管残高は519万トン（対前年同月比1.7%減少）、回転率41.0%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

2月の自動車新車登録台数は22万台（うち貨物車登録台数2万台、旅客車登録台数18万台）となった。

2月の軽自動車販売台数は14万台となった。



(3) 自動車保有台数

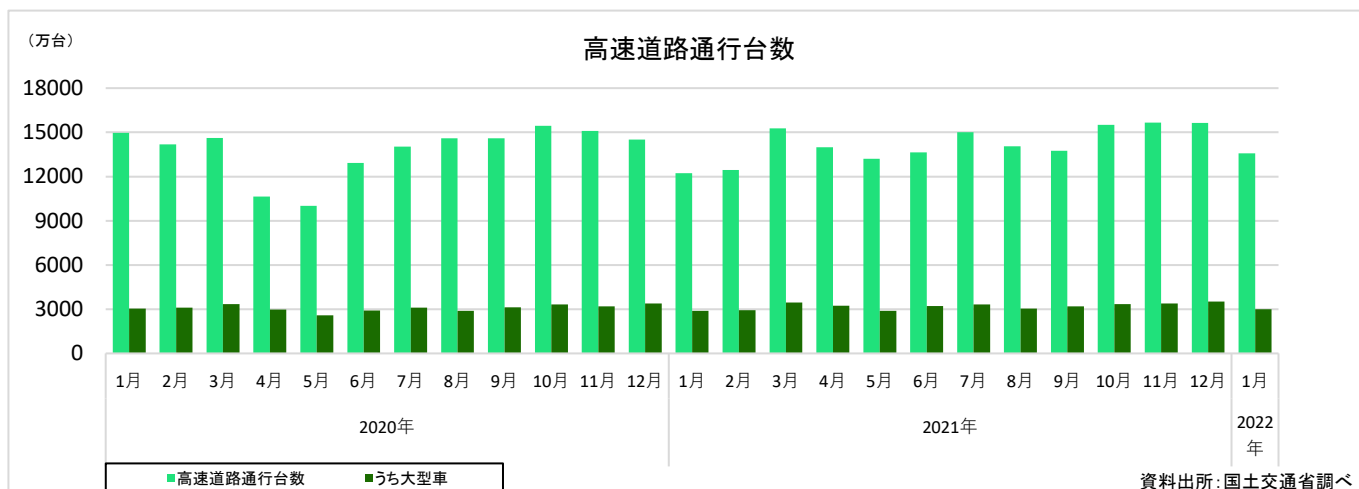
1月の自動車保有台数は8,256万台となった。

(4) 高速道路通行台数

1月の高速道路通行台数は13,574万台（対前年同月比11.0%増加）となった。

そのうち、大型車通行台数は3,001万台であった。

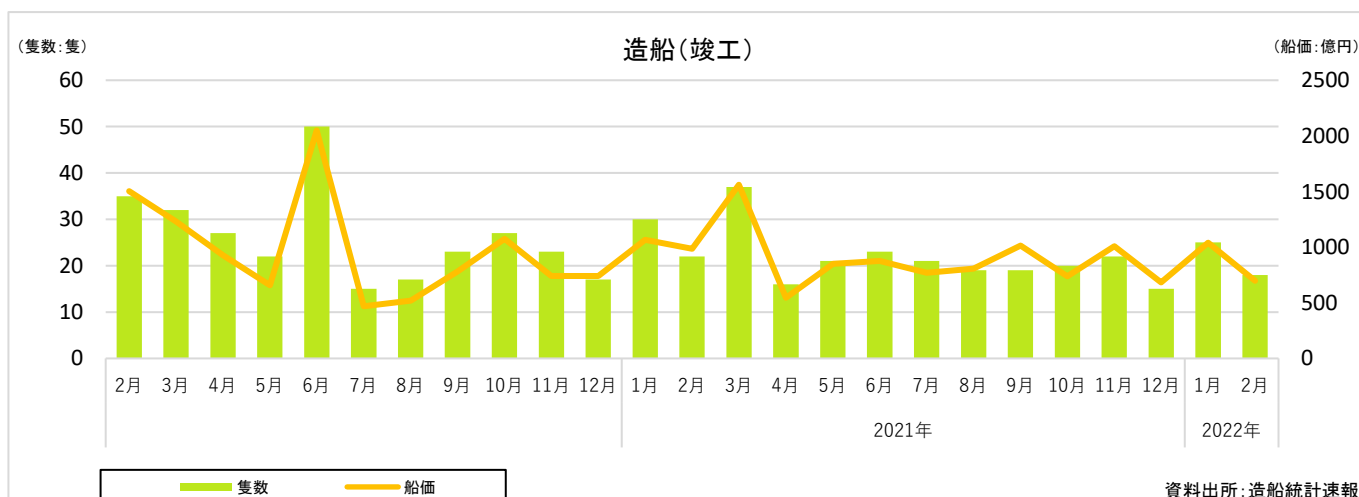
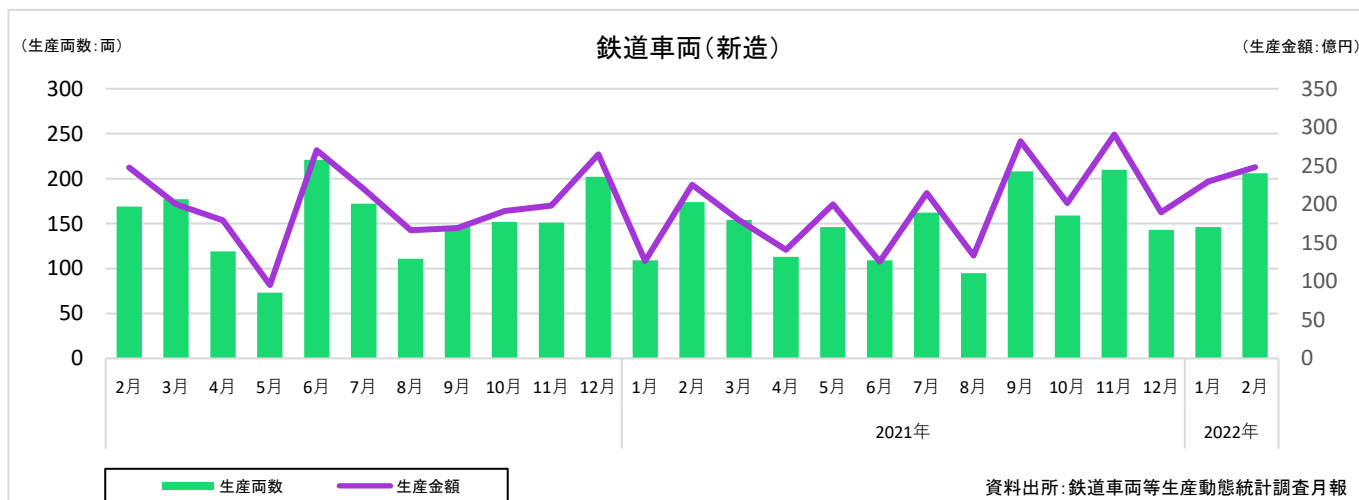
また、東名高速道路通行台数は1,177万台であった。



(5) 鉄道車両、造船

2月の鉄道車両（新造）の生産両数及び生産金額は206両、248億円となった。

2月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は18隻、510,015G/T、699億円となった。

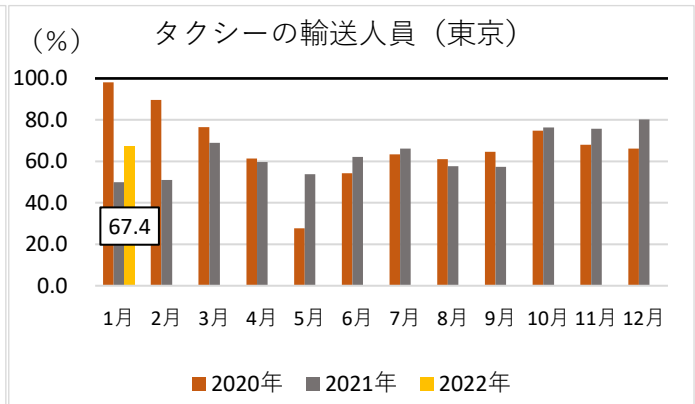
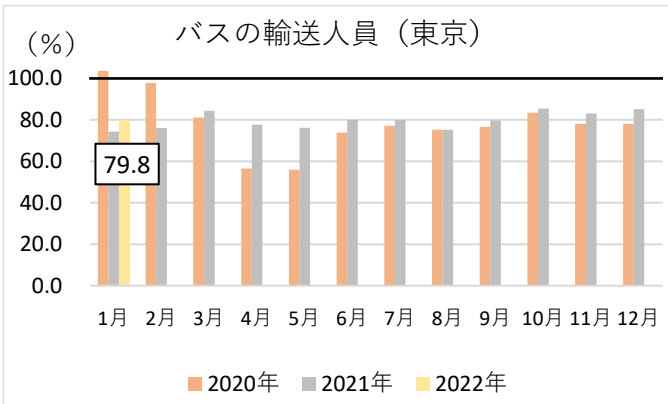


(参考) 旅客輸送の対 2019 年同月比について

(1) バス・タクシー

1月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の対2019年同月比は79.8%となった。

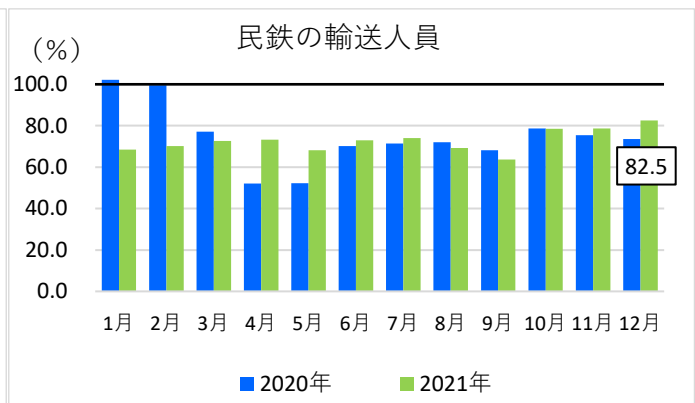
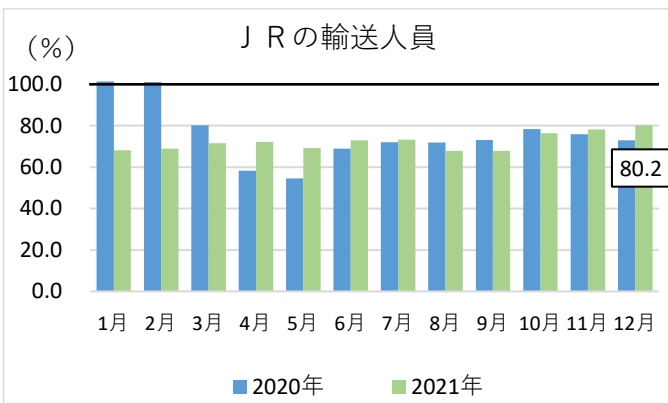
1月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の対2019年同月比は67.4%となった。



(2) 鉄道

12月のJRの対2019年同月比は80.2%となった。

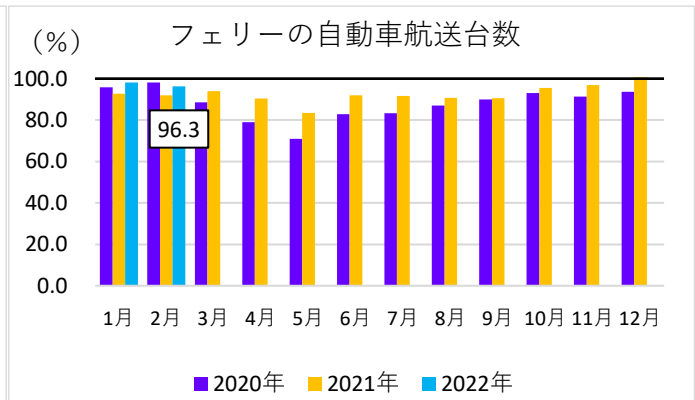
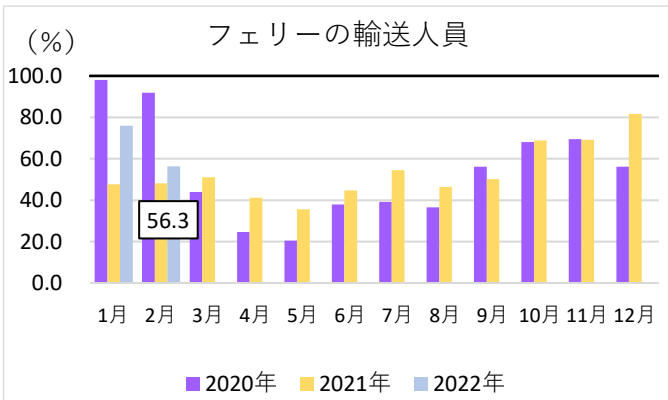
12月の民鉄の対2019年同月比は82.5%となった。



(3) フェリー

2月の長距離フェリーの対2019年同月比は56.3%となった。

2月の自動車航送台数の対2019年同月比は96.3%となった。



(4) 航空

1月の国内線の対2019年同月比は57.3%となった。

1月の国際線の対2019年同月比は9.1%となった。

